

健康サポーターの着け方

(有)アマリ精工

・サポーターの裏側にパット状の Dr.セラ・イオン(粒状のセラミックス)がポケット(袋)に入っております。

・サポーターは、Dr.セラ・イオンを着けたい位置に固定させる物と思って下さい。

(サポーター全体に効果が有る物では有りません)

・サポーターは、ずれない程度に緩く着けて下さい。(強く締めると血流が悪くなります)

Q: Dr.セラ・イオンを血管・リンパ節等の上に当てて着けて下さい。何故ですか？

A: 豊富なマイナスイオン(酸素)を動脈・静脈の血管の中へ直接導入して血流を促進

したいからです。それにより体表面温度が上がり、毛細血管の拡張により血流&

リンパ液の流れが改善され、NK 細胞を活性増加され、免疫力を高め、悪い疾を

緩和されることが期待出来るからです。

(80 人からの臨床実証試験データは、パンフレットをご覧ください)

[腰用サポーター]

尾骶骨から 5~10cm 上の背骨の上に Dr.セラ・イオンを当て前でマジックを止めて下さい。

下着の上から取り付けると取り外しが簡単です。

- ・血液は骨髄で作られますので活性化させます。
- ・胃腸の弱い方は、お腹に Dr.セラ・イオンを当てるのも効果が有ります。

[足首用サポーター]

足首の内側の血管の上に Dr.セラ・イオンを当ててマジックを止めて下さい。

肌に直接又は、靴下の上からでも良いです。

- ・足のつる方は、足の裏(土ふまず)に着けるとより効果が有ります。
- ・足の裏(土ふまず)に着けることで、身体の各機能に効果が期待出来ます。
- ・夜、トイレに行く方は、足首と足の裏の両方に寝る時に着けると、かなりの効果が有ります。

[手首用サポーター]

手首の内側の血管の上に Dr.セラ・イオンを当ててマジックで止めて下さい。

- ・手首に着けることで肩こりにも効果が表れます。

[膝用サポーター]

膝の直ぐ上の内側の血管の上に Dr.セラ・イオンを当ててマジックで止めて下さい。

下着の上から取り付けるとずれなく取り外しが簡単です。

[首用サポーター]

首の後ろの左右の血管と前の左右のリンパ節に Dr.セラ・イオンが当たる様になっておりますので前でマジックを止めて下さい。

風邪は首から引くとされております。首には太い血管が集まっておりますので、リンパ節の流れを良くしましょう。

[気管支用パット]

パットに紐等を通す穴が有りますので、そこに紐等を通して気管支の上に Dr.セラ・イオンが当たる様に首からぶら下げて下さい。

- ・紐の代わりに Dr.セラ・イオン用ネックレスが御座います。(肩凝り用にもなります)
- ・パットを背中に当てる事で、肩凝り・背中の凝りにも効果が有ります。

[アイマスク]

左右の目元と目じりに Dr.セラ・イオンが当たる様になっておりますので後頭部でマジックを止めて下さい。

- ・特に目元に Dr.セラ・イオンが当たる様になっておりますので、血流が良くなる事で、睡眠中の鼻づまり・鼻水の症状が緩和され安眠出来ます。
- ・目じりに Dr.セラ・イオンが当たる様になっておりますので、目の細い毛細血管が拡張され目に栄養分も行き届き、従って目の疲れも緩和されます。
- ・肩こりと目の疲れは相関しております！

目を使い過ぎると交感神経が興奮して、血管が収縮して血行が悪くなります。その為に肩がこるのです。アイマスク・首用サポーターを併用することで、目の疲れと肩の血行も改善され肩こりと目の疲れが和らぎます。

[免疫力を上げる理想的なサポーターの着け方]

- ・臨床実証試験データにも有りますように、「腰用サポーター」「足首用サポーター」「手首用サポーター」の3点が理想です。
- ・更に、「首用サポーター」「アイマスク」を着けることで全身が万全です。
- ・首・手首・足首には太い血管が集まっている部分です。まずここを温めましょう。
- ・つまり、体温が高いと免疫力が高まるのです。理由は、血液の流れが良くなることと、酵素の活性化が高まり全身の新陳代謝が良くなるためです。
- ・Dr.セラ・イオンの効果は、マイナスイオンの他に「ホルミシス効果」と「活性酸素を抑制」する効果有りますので、睡眠中に着けるだけでも結構です。
- ・何故なら、ホルモンの分泌される時間帯は、一般的には夜の10時～夜中の2時と言われております。この時間帯に「ホルミシス効果」によりホルモンの分泌を刺激してあげる訳です。
- ・それによって、疲労・肌の回復で健康と美容に大きく関連致します。

[老化の正体は低体温よる身体の酸化]

ストレス→自律神経・ホルモンのバランスが崩れる→低体温→体内の酸化(錆びる)→
→身体が固くなる→老化が進む

(注)アレルギー症の方・肌の弱い方は、パットだけで長時間(10時間以上)直接肌に貼らないで下さい。
汗により肌がただれることがありますので注意して下さい。